

## 「筒井筒」テスト問題

【一】本文について、設問に答えよ。

昔、①田舎わたらひしける人の子ども、井のもとに出でて遊びけるを、大人になりなければ、男も女も恥ぢかはしてありけれど、男はこの女をこそ得めと思ふ。②女はこの男をと思ひつつ、親のあはすれども、聞かでなむありける。さて、この隣の男のもとより、かくなむ、

③筒井筒井筒にかけしまろが丈過ぎにけらしな妹見ざるまに  
女、返し、

くらべこし振り分け髪も肩過ぎぬ④君ならずしてたれか上ぐべき  
など言ひ言ひて、⑤つひに本意のごとくあひにけり。

さて、⑥年ごろ経るほどに、女、親なく、頼りなくなるままに、⑦もろともに言ふかひなくてあらむやはとて、河内の国高安の郡に、行き通ふ所出で来にけり。さりけれど、このもとの女、あしと思へるけしきもなくて、出だしやりければ、男、⑧異心ありてかかるにやあらむと、思ひ疑ひて、前栽の中に隠れりて、河内へいぬる顔にて見れば、この女、いとよう化粧じて、⑨うちながめて、

⑩風吹けば沖つ白波たつた山夜半にや君がひとり越ゆらむ  
とよみけるを聞きて、⑪限りなくかなしと思ひて、⑫河内へも行かずなりにけり。

まれまれかの高安に来てみれば、⑬初めこそ心にくもつくりけれ、今はうちとけて、手づからいひがひ取りて、筒子のうつはものに盛りけるを見て、心うがりて行かずなりにけり。さりければ、かの女、大和の方を見やりて、

君があたり見つつををらむ生駒山⑭雲な隠しそ雨は降るとも

と言ひて見出だすに、からうじて、大和人、「来む。」と言へり。喜びて待つに、たびたび過ぎぬれば、君来むと言ひし夜ごとに過ぎぬれば頼まぬもの⑮恋ひつつへ？へ経ると言ひけれど、⑯男住まずなりにけり。

問一 次の語句の読みを、ひらがな（現代仮名遣い）で答えなさい。

①本意 ②郡 ③異心 ④前栽 ⑤筒子

問二 傍線部①とは、どのような人か答えなさい。

問三 傍線部②の部分の直後に省略されている表現を、本文から四字で抜き出せ。

問四 傍線部③の歌は男のどのような心理が詠まれたものか。最も適切なものを選び、記号で答えよ。

ア 催促 イ 和解 ウ 求婚 エ 断念

問五 傍線部④とあるが、女は結局のところ何が言いたかったのか。最も適切なものを選び、記号で答えよ。

ア 結婚などできるはずがありましようか。いや、出来ません。

イ 私の相手となる人は、あなた以外にいますか。いや、いません。

ウ 私と結婚しても幸せになれるでしょうか。いや、なれません。

エ 結婚して身分が高くなるでしょうか。いや、なりません。

問六 傍線部⑤について、

(1)「本意」の具体的な内容にあたる部分を、本文から二十五字以内で探して、初めと終わりの五字ずつを書け。

(2) 傍線部全体を現代語訳しなさい。